

Windows Server® 2008およびWindows Server®
2008 R2用プリインストール オペレーティング
システム ソフトウェア
ユーザー ガイド



© Copyright 2008, 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューター ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピューター ソフトウェア、コンピューター ソフトウェア ドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

Microsoft、Windows、Windows SeverおよびWindows NTは、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。Javaは、Sun Microsystems, Inc.の米国における商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

対象読者

このガイドは、サーバーおよびストレージ システムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象とし、コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

目次

概要	5
はじめに	5
特長	5
情報の収集	7
出所に関する証明書	7
インストール	9
オペレーティング システムのインストール前に	9
オペレーティング システムのインストール	10
Windows Server 2008 Standard	10
Windows Server 2008 R2 Standard	10
署名済みドライバー	11
新しいハードウェアの検出ウィザード	11
自動設定	12
インストール後の作業	13
Windows Server 2008 Standard	13
管理者パスワードの変更	13
地域設定の変更	13
Microsoftインターネット インフォメーション サービスのインストール	14
Lights-Out管理機能のインストール	14
ディスク ドライブの設定	15
追加のページ ファイルの作成	15
テープ ドライブのインストール	16
イベント ログ エラー	16
サーバーのバックアップ	16
ネットワーク プロトコルの設定	17
リモート アクセス サーバーのセットアップ	17
Java Virtual Machineのインストール	17
BitLockerドライブ暗号化の有効化	17
Hyper-Vのインストール (Windows 2008 64ビットのみ)	18
HPメディアを使用した仮想マシンでのWindows Server 2008 Standardオペレーティング システムのインストール	19
Hyper-V仮想マシンでのインストール	19
Windows Server 2008 Standardへのゲスト オペレーティング システムのインストール	19
Windows Server 2008 R2へのゲスト オペレーティング システムのインストール	20
VMware仮想マシンでのインストール	21
インストール後の作業 (HP ProLiant 300シリーズ サーバーのみ)	22
Webベース マネジメント ユーティリティ	22
HPマネジメント エージェントのインストール	22
ネットワーク チューニングおよび設定ユーティリティのインストール	23
HP Software Update Manager (HPSUM) の使用	23
アレイ コントローラーの設定	23
マネジメント エージェントの使用	24

トラブルシューティング	25
オペレーティング システムの再インストール	25
頭字語と略語	26

概要

はじめに



重要：ご使用のサーバーにオペレーティング システムがプリインストールされている場合は、初めてサーバーの電源を入れるときにHP SmartStart CDから起動しないでください。SmartStart CDは、オペレーティング システムを再インストールするときのみ使用してください。



重要：オペレーティング システムのインストールを完了してから追加のハードウェア オプションをインストールしてください。

このガイドでは、次のプリインストール オペレーティング システムのインストールを完了するための手順を示します。

Microsoft® Windows Server™ 2008オペレーティング システム

特長

オペレーティング システムは、サーバーの出荷前に、サーバーのディスク ドライブにあらかじめロードされています。また、最新ドライバーもサーバーのディスク ドライブにダウンロードされ、あらかじめロードされたオペレーティング システムに統合されています。

サーバーのオペレーティング システムの通常のインストール プロセスは、サーバーにあらかじめロードされているため短縮されます。インストール時間は約30分ですが、CDによる平均的なインストール時間では90分にもなります。インストール中に、サーバー名、IPアドレス、および地域設定などのユーザー固有の情報を入力する必要があります。

HPのMicrosoft® Windows Server™ 2008プリインストール ソフトウェアには、次の特長があります。

- すぐに実行できます。セットアップ ウィザードの指示に従ってHP独自のコンポーネントをインストールし、可能な範囲で設定します。必要なオペレーティング システムの再起動が数回行われた後に、Microsoft® Windows Server™ 2008のインストールが完了し、必要なユーザー設定を実行できます。
- ネットワーク プロトコルのTCP/IPおよびSNMPサービスを設定済みです。このサービスは、効果的なネットワーク管理に必要です。このサービスによって、HPマネジメント エージェントforサーバーがHP Systems Insight Managerと通信できます。
- オペレーティング システム アクティベーション。HPから直接購入した場合、その製品はアクティベーション済みです。HPがオペレーティング システムをアクティベーションしているため、お客様がアクティベーションを行う必要はありません。お近くのHP製品販売店でこの製品を購入した場合は、Microsoftに直接電話で連絡して、インストールから60日以内にオンラインで製品のアクティベーションを完了する必要があります。オペレーティング システムのインストール時には、アクティベーション手順に従ってください。また、Microsoft®は60日のアクティベーション期間を最長240日に延長することを認めています。詳しくは、Microsoft社のWebサイトにあるMicrosoft® Knowledge BaseのArticle (<http://support.microsoft.com/kb/948472>) を参照してください。
- HPマネジメント エージェントforサーバーをインストールして、サーバーを即座に管理できます。HPマネジメント エージェントは、サーバーの性能と設定およびオペレーティング システムの性能を監視します。HPマネジメント エージェントは、障害発生時にアラートを発行してユーザーに影響が及ぶ前に問題の発生を防ぎます。

- NTFSを設定済みです。Microsoft® Windows Server™ 2008の多くの新機能では、Microsoft® Active Directoryを使用してサーバーをドメイン コントローラーにする場合などに、NTFSが必要です。また、NTFSは優れたセキュリティ機能を提供します。サーバーを正しく設定し、ネットワーク インフラストラクチャ内でMicrosoft® Windows NT®の旧バージョンと併用して、Microsoft® Windows Server™ 2008でNTFSを使用する方法については、Microsoft® Windows Server™ 2008ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Microsoft® Windows Server™ 2008について詳しくは、HPのWebサイト<http://h50146.www5.hp.com/products/servers/proliant/os/windows2008>またはMicrosoft社のWebサイト<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/>を参照してください。

情報の収集

出所に関する証明書



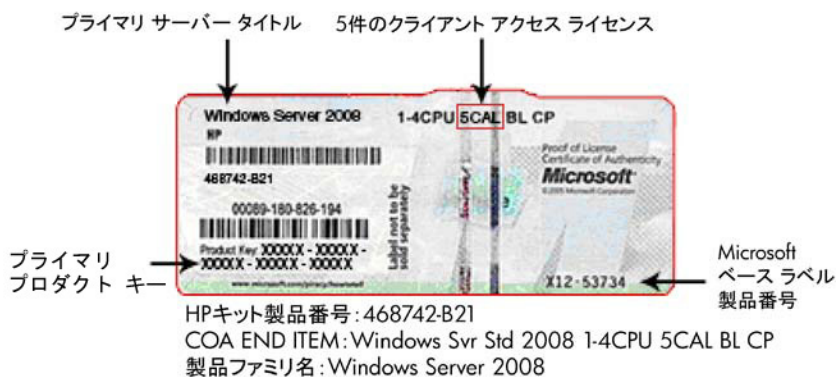
重要 : COAラベルがサーバーのどこに貼付されているかを確認し、後で参照できるようにプロダクトキーを記録しておいてください。

COAラベルは、次の目的に使用されます。

- ライセンスを確認し、Microsoft®アップグレード プログラムを使用して、プリインストール オペレーティング システムをアップグレードします。
- オペレーティング システムに回復不能な障害が発生したときに、オペレーティング システムを再インストールします。

COAラベルの貼付位置は、サーバーのモデルによって異なります。ラックマウント型サーバー モデルでは、COAラベルは、右側のサイド パネルの前部またはトップ パネルの前面側の右隅にあります。タワー型モデルでは、COAラベルは、サーバーのトップ パネルの後部にあります。

注 : ここに示すプロダクト キーは一般的な例であり、実際に購入された製品のプロダクト キーと異なる場合があります。



注 : プロダクト キーは、工場出荷時にサーバーにすでにインストールされているため、オペレーティング システムを最初にインストールする際には不要です。

サーバーを最初にインストールし、COAラベルを簡単に確認できるときに、次の欄にプロダクト キーを記録しておいてください。

ご使用のサーバーの製品ID番号

HP ProLiantサーバーでのWindows Server®オペレーティング システム製品のライセンスについては、『Microsoft® Windows® Server Licensing FAQ guide』（http://h50146.www5.hp.com/products/servers/proliant/whitepaper/wp109_0911/pdfs/4AA2-7877ENW.pdf）を参照してください。

インストール

オペレーティング システムのインストール前に



重要：サーバーのユーザー マニュアルの説明に従ってサーバーのハードウェアを接続してから、サーバーの電源を入れて、オペレーティング システム ソフトウェアを設定してください。ソフトウェアのインストールが完了するまで、追加のハードウェア デバイスを取り付けしないでください。



重要：HPのドライバー ファイルのパスを指定するように要求されたら、C:\¥Driversを指定してください。ドライバー ファイルは、このパスのサブディレクトリにあります。ディレクトリを確認するには、**[参照]**をクリックしてください。



重要：ソフトウェアのインストールを正常に完了するため、TCP/IPサービスをインストールし、サーバーをアクティブなネットワークに接続する必要があります。



重要：Windows® Server 2008 Standardオペレーティング システムは1.5GBと20GBの2つのパーティションに分かれています。1.5GBのパーティションはBitLockerのサポートに必要です。この1.5GBのシステム パーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。



重要：オペレーティング システムの最初のセットアップ時にBitLockerサポートを選択していない場合は、Disk - 0をダイナミック ディスクにアップグレードしないでください。ダイナミック ディスクでは、BitLockerを有効にするために必要なパーティション1をアクティブに設定することはできません。



重要：Windows® Server 2008 R2 Standardオペレーティング システムは2つのパーティションに分かれています。パーティションは、それぞれ1GBと20GBです。1GBパーティションはシステム専用であり、非表示になっています。この1GBのシステム パーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。

オペレーティング システムのインストール

Windows Server 2008 Standard

1. サーバーの電源を入れます。HPの初期画面が表示されます。
2. HPの初期画面で、適切なキーを押して次へ進みます。サーバーの使用許諾契約書の画面が表示されます。
3. 使用許諾契約書に同意する場合は、該当するキーを押します。
4. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - ディスク容量のオプションで**[標準]**を選択します。このオプションでは、パーティション サイズが20GBに設定されます。
 - ディスク容量のオプションで**[カスタム]**を選択します。このオプションでは、パーティション サイズを20GBから最大ディスク容量の値まで設定できます。
5. オペレーティング システムのバージョン（32ビットまたは64ビット）を選択します。
6. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - [Yes] - BitLockerを有効にする場合は、1.5GBのシステム パーティションをアクティブに設定します。BitLocker機能をインストールします。詳しくは、「BitLockerドライブ暗号化の有効化」（17ページ）の項を参照してください。
 - [No] - BitLockerを後ほど有効にする場合は、2番目のパーティションをアクティブに設定します。オペレーティング システムはその2番目のパーティションから起動します。詳しくは、「BitLockerドライブ暗号化の有効化」（17ページ）の項を参照してください。
7. ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、該当するキーを押します。
8. 画面の指示に従います。キーボードまたはマウスからの入力、システムから指示があるときのみ行ってください。ソフトウェアのインストール中に、実行されている処理を説明する複数のステータス画面が表示されます。



注意：インストールが終了すると、サーバーは再起動を要求します。インストール処理中は、決してサーバーの電源を切らないでください。インストール処理中にサーバーの電源を切ると、インストールが正しく行われず、オペレーティング システムが再起動しない場合があります。

注：エンド ユーザー使用許諾契約書（EULA）は、インストール終了後に**[スタート]**メニューから**[すべてのプログラム]**、**[プリインストール]**の順にMicrosoftの使用許諾契約書のリンクをクリックすることにより、表示および印刷することができます。

Windows Server 2008 R2 Standard

1. サーバーの電源を入れます。HPの初期画面が表示されます。
2. HPの初期画面で、必要な言語を選択し、適切なキーを押して次へ進みます。サーバーの使用許諾契約書の画面が表示されます。
3. 使用許諾契約書に同意する場合は、該当するキーを押します。
4. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - ディスク容量のオプションで**[標準]**を選択します。このオプションでは、パーティション サイズが20GBに設定されます。
 - ディスク容量のオプションで**[カスタム]**を選択します。このオプションでは、パーティション サイズを20GBから最大ディスク容量の値まで設定できます。
5. 管理者パスワードを入力し、確認して先に進みます。
6. ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、該当するキーを押します。

7. 画面の指示に従います。キーボードまたはマウスからの入力、システムから指示があるときのみ行ってください。ソフトウェアのインストール中に、実行されている処理を説明する複数のステータス画面が表示されます。



注意：インストールが終了すると、サーバーは再起動を要求します。インストール処理中は、決してサーバーの電源を切らないでください。インストール処理中にサーバーの電源を切ると、インストールが正しく行われず、オペレーティング システムが再起動しない場合があります。

注：エンド ユーザー使用許諾契約書（EULA）は、インストール終了後に[スタート]メニューから[すべてのプログラム]、[プリインストール]の順にMicrosoftの使用許諾契約書のリンクをクリックすることにより、表示および印刷することができます。

署名済みドライバー

オペレーティング システムのインストール中に、署名されていないソフトウェア ドライバーに関して注意のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、ドライバーをインストールしようとする際に、「デジタル署名が見つかりません」という注意を示します。メッセージが表示されたら、[はい]をクリックして、ドライバーを受け入れ、インストールを続行します。サーバーの再起動を求めるメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックします。オペレーティング システムのインストール完了後に、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/support>にアクセスして、サーバーの機種、モデル名、OSを選択し、次の画面で必要なドライバーを選択した後、言語選択のリスト ボックスから日本語を選択してダウンロードしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード

オペレーティング システムのインストール中に新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される場合があります。このウィザードが表示されたら、[キャンセル]をクリックします。



重要：オペレーティング システムのインストール中にドライバーをインストールしないでください。ドライバーのインストールが完了する前にサーバーが自動的に再起動する場合がありますため、この再起動によって、デバイスが正しくインストールされない場合があります。

オペレーティング システムのインストール後にドライバーをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. [スタート]メニューから[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順にクリックします。
2. 左の欄で、[デバイス マネージャー]を選択します。
3. 黄色のマークが表示されているコンポーネントを右クリックして、[ドライバー ソフトウェアの更新]を選択します。
4. [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]オプションをクリックします。
5. テキストボックスに次のパスを入力します。
C:\Drivers
6. [次へ]をクリックします。
7. [ドライバー ファイルの検索結果]画面で、[次へ]をクリックします。
8. [閉じる]をクリックして、[新しいハードウェアの検出ウィザード]を終了します。

セットアップ処理が開始します。セットアップに必要な再起動などの処理がすべて完了するまで、セットアップ処理を中断したり、電源を切ったりしないでください。セットアップ処理が完了した後に、サーバーの設定を変更することができます。



重要：システムは最初のログイン後にドライバーのインストールを完了する場合があります。[初期構成タスク]画面では操作を行わないでください。追加のドライバーがロードされると、システムはドライバーのインストールを完了して自動的に再起動します。次にログイン メッセージが表示されたら、ログインして新しいオペレーティング システムを使用できます。

自動設定

セットアップ処理の一部は自動的に設定され、これらの設定画面は表示されません。設定済みの情報を変更する場合は、オペレーティング システムのオンライン ヘルプを参照してください。後で変更しなければならない可能性がある自動設定のパラメーターは、次のとおりです。

- ライセンス モード - デフォルトでは、サーバーのライセンス モードは、各デバイスまたは各ユーザーで5台のデバイスまたは5人のユーザーに設定されています。ライセンスについては、オンライン ヘルプまたはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- 管理者パスワード - 管理者のパスワードは空白にしてあります。ソフトウェアのインストール完了後、パスワードの変更を指示されたら、パスワードを設定してください。インストール終了後に管理者パスワードを変更する手順については、「管理者パスワードの変更」 (13ページ) の項を参照してください。
- ダイナミック ディスク アップグレード - オペレーティング システムは、約16GBのパーティションにプリインストールされています。アレイ コントローラーでは、論理ドライブ サイズがドライブの最大サイズに設定されています。ダイナミック ディスク アップグレードをサポートするために、アレイ コントローラーの論理ドライブ上に3MBから7MBの空き容量があります。

注：ダイナミック ディスク アップグレードは、オプションです。ダイナミック ディスク アップグレードについては、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。ダイナミック ディスクのアップグレード後は、システム修復ディスクをアップデートする必要があります。

インストール後の作業

Windows Server 2008 Standard

最初のソフトウェア インストールを完了した後に、以下の手順に従ってサーバーにログインしてください。

1. 最初のログイン時にユーザー パスワードの変更を指示されたら、ログイン画面で[OK]をクリックします。
2. 管理者のパスワードを設定します。
3. [OK]をクリックします。
4. デフォルトでは、コンピューター名はデフォルト値に設定されています。デフォルト値は必要に応じて変更できます。

管理者パスワードの変更

管理者パスワードは、**Ctrl、Alt、Delete**キーを同時に押して、[パスワードの変更]をクリックするか、以下の手順で変更できます。

1. [スタート]メニューから[プログラム]、[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順に選択します。
2. [システム ツール]ディレクトリ、[ローカル ユーザーとグループ]ディレクトリの順に展開します。
3. [ユーザー]フォルダーをクリックします。
4. ウィンドウの右側に表示される[Administrator]を右クリックして、[パスワードの設定]を選択します。この場合、警告メッセージが表示されます。
5. [続行]をクリックして続行します。
6. [新しいパスワード]フィールドに新しいパスワードを入力し、[パスワードの確認入力]フィールドにパスワードを再入力します。
7. [OK]をクリックします。
8. [OK]をクリックして処理を完了します。



注意：管理者パスワードは絶対に忘れないでください。サーバーの再設定には、このパスワードが必要です。

管理者パスワードの変更について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

地域設定の変更

サーバーをデフォルトの地域設定で動作させない場合は、地域設定を変更してください。地域設定は、キーボードの言語を変更し、ローカル フォーマットを選択することによって、指定した地域用の時刻、日付、数値、および通貨をソートして、表示できるようにするものです。

1. [スタート]メニューから[コントロール パネル]を選択します。
2. [地域と言語のオプション]をダブルクリックします。
3. [管理]タブをクリックします。
4. [システム ロケールの変更]ボタンをクリックして一覧からロケールを選び、正しいロケールを選択します。

5. **[キーボードと言語]**タブをクリックし、次に**[キーボードの変更]**をクリックします。**[テキスト サービスと入力言語]**ウィンドウが表示されます。
6. **[入力言語の追加]**ウィンドウを選択するには、**[追加]**をクリックします。
7. **[入力言語の追加]**ウィンドウで、**[キーボード レイアウト/入力システム]**を選択して、入力言語を修正します。
8. **[OK]**をクリックします。
9. 適切な**[既定の言語]**をリストから選択します。
10. **[OK]**をクリックし、**[テキスト サービスと入力言語]**ウィンドウを閉じます。
11. **[OK]**をクリックし、**[地域と言語のオプション]**ウィンドウを閉じます。

Microsoftインターネット インフォメーション サービスのインストール



重要：Microsoft®インターネット インフォメーション サービスおよびActive Directoryのようなネットワークワーキング コンポーネントのインストールを完了するには、サーバーをアクティブなネットワーク接続に接続する必要があります。

1. **[スタート]**メニューから、**[管理ツール]**、**[サーバー マネージャー]**の順に選択します。
2. 左側の欄で、**[役割]**をクリックします。
3. **[役割の追加]**を選択してから**[次へ]**をクリックして次に進みます。
4. **[Webサーバー (ISS)]**コンポーネント チェックボックスを選択します。
5. サービスの依存関係を自動インストールするには、**[必要な機能を追加]**をクリックします。
6. **[次へ]**をクリックします。
7. 必要に応じて**[役割サービス]**を選択して、**[次へ]**をクリックします。
8. **[閉じる]**をクリックして、インストールを完了します。

Lights-Out管理機能のインストール

サーバー用にリモートInsightボードLights-Out Edition (RILOE) を購入している場合、またiLOコントローラーが取り付けられたサーバーを購入している場合は、以下の手順に従ってインストールを完了します。オペレーティング システムのインストールが完了するまで、デバイス ドライバーをインストールしないでください。



重要：Microsoft®のハードウェア ウィザードは、リモートInsightボードLights-Out Edition (RILOE) をPCIメモリ コントローラーとして検出し、Integrated Lights-Outコントローラーをベース システム デバイスとして検出します。ハードウェア ウィザードはドライバーのインストールが完了するまで、そのデバイスとして表示し続けます。

1. **[新しいハードウェアの検出ウィザード]ウィンドウで、[ドライバー ソフトウェアを検索してインストールします]**をクリックします。
2. **[デバイスに最適なドライバーを検索する]**を選択します。
3. **[次へ]**をクリックします。
4. **[場所を指定]**を選択し、**[フロッピー ディスク ドライブ]**と**[CD-ROMドライブ]**を削除します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. テキストボックスに次のパスを入力します。
C:\Drivers
7. **[OK]**をクリックします。
8. **[ドライバー ファイルの検索]画面で[次へ]**をクリックし、**[完了]**をクリックします。

ディスク ドライブの設定

オペレーティング システムのインストール時にサーバー上で設定済みのドライブは、オペレーティング システムがインストールされているプライマリ論理ドライブのみです。プライマリ ドライブには、パーティションが作成されていないスペースもあります。このパーティションが作成されていないスペースとサーバーに追加した他のディスク ドライブを使用するには、ディスク アドミニストレーターを使用して事前にパーティションを作成してフォーマットしなければなりません。

サーバーと一緒にアレイ コントローラーを購入している場合は、「アレイ コントローラーの設定」(23ページ)の手順を参照してください。

1. **[スタート]**メニューから**[プログラム]**、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に選択します。
2. **[記憶域]**ディレクトリを展開して、**[ディスクの管理]**を選択します。ウィンドウの右側にディスクと論理ドライブの情報が表示されます。
3. **[コンピューターの管理]**ウィンドウの右側下に、ACUが作成した新しい論理ドライブが未割り当て領域として表示されない場合は、**[操作]**、**[ディスクの再スキャン]**の順にクリックします。
4. 右側下のパネルで、**[ディスク1]**をクリックして、**[ディスクの初期化]**を選択します。
5. **[ディスクの初期化]**画面で、**[ディスク1]**を選択して**[OK]**をクリックします。ディスクは、ベーシック ディスクとして識別されます。
6. ディスク容量が示され「未割り当て」のラベルが付けられているボックスを右クリックし、**[新しいボリューム (シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5)]**を選択します。
7. **[新しいパーティション ウィザード]**画面で、**[次へ]**をクリックします。
8. 最大ディスク容量を使用する場合は、**[次へ]**をクリックします。または**[パーティション サイズの指定]**画面で、必要なパーティション サイズを入力します。
9. **[ドライブ文字またはパスの割り当て]**画面で、**[次へ]**をクリックしてデフォルトで割り当てられたドライブ文字を受け入れます。**[パーティションのフォーマット]**画面が表示されます。
10. ドライブをフォーマットするには、適切なファイル システム フォーマット (デフォルトはNTFS) 、**[アロケーション ユニット サイズ]**を選択します。
 - a. ボリューム ラベルを入力するか、またはデフォルトのラベルを受け入れます。
11. 必要に応じて、**[クイック フォーマットする]**および**[ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする]**を選択します。
12. ドライブをフォーマットしない場合は、**[このパーティションをフォーマットしない]**を選択します。
13. **[次へ]**をクリックします。
14. **[新しいパーティション ウィザード]**画面で、**[完了]**をクリックします。フォーマットが完了した時点で、パーティションは選択したファイル システムにフォーマットされ、**[正常]**のラベルが付けられます。

新しいハードディスク ドライブの設定方法およびダイナミック ディスクへのアップグレード方法について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

追加のページ ファイルの作成

追加のメモリまたはソフトウェア アプリケーションをサーバーにインストールする際に、C:ドライブの空き容量が残り少ないことを示すエラー メッセージがイベント ログに表示されることがあります。この問題を解消するには、C:ドライブにあるアプリケーションを他のパーティションに移動させるか、ページ ファイルを作成します。サーバーのメモリの総量をサポートするために、別のパーティションにページ ファイルを作成すると、もっとも効果的に問題を解消できます。

追加のページ ファイルを作成したら、起動パーティションにあるページ ファイルを、サーバーのメモリの総量と同じに設定します。ページ ファイルの作成手順について詳しくは、**[スタート]**メニューから**[ヘルプとサポート]**を選択し、表示されるヘルプ ファイルを参照してください。

テープ ドライブのインストール

テープ ドライブを購入してサーバーで使用する場合、テープ ドライブのサポート ドライバーを手動でインストールしなければならないことがあります。

1. **[スタート]**メニューから**[プログラム]**、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**、**[デバイス マネージャー]**の順に選択します。**[デバイス マネージャー]**によって、画面の右側にすべてのデバイスが表示されます。
2. テープ デバイスを選択します。適切なドライバーをインストールするまで、テープ ドライブは、**[その他のデバイス]**カテゴリの疑問符 (?) アイコンの下に示されます。疑問符は、認識されていないデバイスを示します。
3. テープ デバイスを右クリックして、**[プロパティ]**を選択します。
4. **[ドライバー]**タブをクリックして、**[ドライバーの更新]**をクリックします。**[ハードウェアの更新ウィザード]**が起動します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. **[一覧または特定の場所からインストールする]**を選択します。
7. **[次へ]**をクリックします。
8. **[次の場所で最適のドライバーを検索する]**を選択します。
9. **[次へ]**をクリックします。
10. **[次の場所を含める]**フィールドに次のパスを入力します。

C:\DRIVERS

1. **[OK]**をクリックします。ドライバーの検索結果に、適切なデバイスが表示されます。
2. 間違ったデバイスが表示される場合は、**[戻る]**をクリックして、正しいデバイスを選択しなおします。
3. **[次へ]**をクリックして、ドライバーをインストールします。
4. **[完了]**、**[閉じる]**ボタンの順にクリックして**[コンピューターの管理]**画面に戻ります。

以上でテープ ドライバーのインストールは完了です。これで**[コンピューターの管理]**画面の**[テープ ドライブ]**カテゴリにテープ デバイスが表示されます。

イベント ログ エラー

ProLiantインストール ユーティリティを終了した後に、特定のコントローラー ドライバーに関してイベント ログ エラー メッセージが表示される場合があります。これらのメッセージはこの時点で予測されているもので、サーバーまたはオペレーティング システムの性能には影響しません。表示される可能性のあるメッセージは、次のとおりです。

- The device, \Device\scsi\adpnl60ml, did not respond within the timeout period.
- The device, \Device\scsi\cpqfcalm1, did not respond within the timeout period.
- Unable to read IO control information from NBT device.Refer to article #Q257760 on the Microsoft® website (<http://www.microsoft.com>).

サーバーのバックアップ

ソフトウェアのインストールが完了してサーバーが動作可能になったら、テープ バックアップ システムと認定されているテープ バックアップ ソフトウェアを使用して、サーバーのバックアップを行ってください。

ネットワーク プロトコルの設定

TCP/IPとSNMPサービスは、自動的にインストールされます。HPマネジメント エージェントforサーバーがHP Systems Insight Managerと通信するには、TCP/IPおよびSNMPサービスが必要です。SNMPサービスを無効にするには、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。Microsoft® Windows Server™ 2008では、TCP/IPを有効にしなければなりません。

リモート アクセス サーバーのセットアップ

1. [スタート]メニューから[コントロール パネル]を選択します。
2. [ネットワークと共有センター]をダブルクリックします。
3. [接続のセットアップ]または[ネットワーク]をクリックします。
4. 画面の指示に従ってセットアップを進めてください。

必要なネットワーク接続パラメーターについては、サーバーに付属のオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

Java Virtual Machineのインストール

一部のWebページは、Internet Explorer 6.0を使用して完全に、そして適切に表示させるために、Java™ Virtual Machine (<http://www.java.com>) をダウンロードおよびインストールする必要がある場合があります。たとえば、System Management HomepageからWebエージェント ヘルプを表示させる場合、Java™ Virtual Machineがインストールされていないと、[ヘルプ]画面の左カラムに表示されるべきテキストが正しく表示されません。

BitLocker ドライブ暗号化の有効化

Windows® Server 2008 Standard上にインストールする場合は、次の箇条書きの2つの項目を完了する必要があります。Windows® Server R2 Standard上にインストールする場合は、手順1に進んでください。

- オペレーティング システムの初期インストール時にBitLockerのサポートで[No]を選択した場合は、ディスクマネージャーで既存の1.5GBのシステム パーティションをアクティブに設定してからシステムを再起動し、1.5GBのパーティションからサーバーを起動します。手順1から開始して、以下の手順を完了してください。
- [Yes]を選択した場合は、初期オペレーティング システムのインストール時に以下の手順を実行します。
 1. サーバー マネージャーからBitLocker機能を追加して、サーバーを再起動します。
 2. オペレーティング システムの起動後、管理者としてログインして、[コントロール パネル]を開き、[セキュリティ]、[BitLockerドライブ暗号化]の順にクリックします。
 3. [ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示された場合は、内容を確認して[続行]をクリックします。[BitLockerドライブ暗号化]ページが表示されます。
 4. オペレーティング システムのボリューム上で[BitLockerをオンにする]をクリックします。「BitLocker encryption might have a performance impact on your server」という警告が表示されます。ご使用のTPM (Trusted Platform Module) が初期化されていない場合は、[TPM Security Hardware]ウィザードが表示されます。指示に従ってTPMを初期化します。変更を有効にするには、コンピューターを再起動またはシャットダウンする必要があります。
 5. [回復パスワードの保存]ページに以下のオプションが表示されます。
 - [パスワードをUSBドライブに保存する]。パスワードをUSBフラッシュ ドライブに保存します。
 - [パスワードをフォルダーに保存する]。パスワードをネットワーク ドライブ上または他の場所にあるフォルダーに保存します。

- [パスワードを印刷する]。パスワードを印刷します。

1つまたは複数のオプションを使用して、リカバリ パスワードを保存します。各オプションでは、オプションを選択してウィザードの手順に従い、リカバリ パスワードの保存場所を設定するか、印刷してください。

6. リカバリ パスワードの保存が終了したら、**[次へ]**をクリックします。[Encrypt the selected disk volume]ページが表示されます。



重要：暗号化されたディスクを他のコンピューターに移動した場合や、システムのスタートアップ情報が変更された場合に、リカバリ パスワードが必要になります。このパスワードは非常に重要であるため、複数のコピーを作成してコンピューターから離れた安全な場所に保管し、データに確実にアクセスできるようにしておくことをおすすめします。BitLockerがロック状態になった場合、ボリューム上の暗号化されたデータのロックを解除するには、リカバリ パスワードが必要です。このリカバリ パスワードは、特定のBitLocker暗号化にのみ有効なものです。他のBitLocker暗号化セッションで暗号化されたデータの復元には使用できません。

7. [BitLockerシステムの実行]チェックボックスが選択されていることを確認して、**[続行]**をクリックします。
8. **[今すぐ再起動する]**をクリックします。コンピューターが再起動して、そのコンピューターがBitLockerに対応しており、暗号化を開始できるかどうかをBitLockerが検証します。対応していない場合は、問題点を警告するエラー メッセージが表示されます。
9. 暗号化を開始できる場合は、[暗号化しています]ステータス バーが表示されます。画面下部の通知エリアにあるBitLocker Drive Encryptionアイコンにマウス カーソルを移動すると、ディスク ボリューム暗号化の進捗状況を監視できます。

この手順が完了すると、オペレーティング システムのボリュームが暗号化され、そのボリュームにのみ有効なリカバリ パスワードが作成されます。次のログイン時には、目に見える変更はありません。TPMが変更された場合やアクセスできない場合、キー システム ファイルが変更された場合、またはオペレーティング システムではなく製品CDやDVDからコンピューターを起動しようとした場合に、コンピューターはリカバリ モードに切り替わり、リカバリ パスワードが入力されるまで解除されません。

BitLockerについて詳しくは、Microsoft®社のWebサイト<http://technet.microsoft.com/en-us/windows/aa905065.aspx>を参照してください。

Hyper-Vのインストール (Windows 2008 64ビットのみ)

1. [スタート]メニューから、**[管理ツール]**、**[サーバー マネージャー]**の順に選択します。
2. 左側の欄で、**[役割]**をクリックします。
3. **[役割の追加]**を選択し、**[次へ]**をクリックして次に進みます。
4. **[Hyper-V]**コンポーネントのチェックボックスを選択し、**[次へ]**をクリックして続行します。
5. **[次へ]**をクリックします。
6. 指示に従い適切な設定を選択し、**[Install]**をクリックしてインストールを開始します。
7. **[閉じる]**をクリックし、**[Yes]**を押してシステムを再起動して、インストールを完了します。

HPメディアを使用した仮想マシンでのWindows Server 2008 Standardオペレーティング システムのインストール

Hyper-V仮想マシンでのインストール

1. ホストOSで**HPVirtualOSE.exe**を実行します。
HPVirtualOSE.exeはC:\HPフォルダーにあります。
ヘルプ情報については、C:\HPフォルダーにあるREADME.txtを参照してください。
実行可能ファイルを実行すると、成功のメッセージが表示されます。
2. ゲスト仮想マシンの設定について詳しくは、Windows Server® 2008のマニュアルまたはHyper-Vのインストールと設定のヘルプを参照してください。
3. HPブランドのWindows®オペレーティング システム メディアを作成した仮想マシンにマッピングし、オペレーティング システムのインストールを開始します。

Windows Server 2008 Standardへのゲスト オペレーティング システムのインストール

HPブランドのWindows Server® 2008メディアDVDから、フルインストール モードでMicrosoft® Hyper-V上にゲストオペレーティング システムをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホスト サーバーにHPブランドのWindows Server® 2008をフルインストール モードでインストールします。
2. サービス マネージャーを使用してHyper-Vサーバーの役割を有効にします。
3. HPブランドのWindows Server® 2008メディアDVDから、D:\Sources\%\$OEM%\\$\\$system32\HPVirtualOSE.exeファイルをコピーします。
4. 上記のファイルをホスト サーバーのc:\HPフォルダーに貼り付けます。
5. HPブランドのWindows Server® 2008メディアDVDから、D:\Sources\%\$OEM%\\$\\$system32\LHBL.vbsスクリプトをコピーします。
6. 上記のスクリプトをホスト サーバーのc:\windows\system32フォルダーに貼り付けます。
7. HPVirtualOSE実行可能ファイルをダブルクリックします。完了後、成功のメッセージが表示されます。ここで、仮想マシンにゲスト オペレーティング システムをインストールできます。

ゲスト オペレーティング システム用のMicrosoft® Hyper-VをServer Coreモードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホスト サーバーで、HPブランドのWindows Server® 2008メディアDVDからWindows Server® 2008をServer Coreモードでインストールします。
2. start /w ocsetup Microsoft-Hyper-Vコマンドを使用してMicrosoft® Hyper-Vをインストールします。
3. Copy D:\Sources\%\$OEM%\\$\\$system32\LHBL.vbsコマンドを使用して、HPブランドのWindows® 2008メディアDVDからLHBL.vbsスクリプトをコピーします。
4. このスクリプトを、c:\windows\system32サーバー フォルダーに貼り付けます。

5. `cscript C:\Windows\System32\LHBL.vbs` コマンドを使用して、`c:\windows\system32` フォルダに貼り付けたスクリプトを実行します。

注 : `C:\Windows\System32\LHBL.vbs` は、Microsoft® Hyper-Vがインストールされた後のホスト サーバー上で実行するスクリプトです。それ以外の状況では実行しないでください。スクリプトが正常に実行されると、C:ドライブに`success.txt`という名前のテキスト ファイルが作成されます。

Windows Server 2008 R2へのゲスト オペレーティング システムのインストール

HPによりプリインストールされている場合またはHPブランドのWindows Server® 2008 R2メディア DVDからのインストールの場合

HPブランドのWindows Server® 2008 R2メディアDVDから、フルインストール モードでMicrosoft® Hyper-V上にゲスト オペレーティング システムをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホスト サーバーにHPブランドのWindows Server® 2008 R2をフルインストール モードでインストールします。
2. サービス マネージャーを使用してHyper-Vサーバーの役割を有効にします。
3. 作成した仮想マシンに、HPブランドのWindows Server® 2008オペレーティング システム メディアをマッピングし、オペレーティング システムのインストールを開始します。

ゲスト オペレーティング システムをMicrosoft® Hyper-VにServer Coreモードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホスト サーバーにHPブランドのWindows Server® 2008 R2をServer Coreモードでインストールします。
2. `start /w ocsetup Microsoft®-Hyper-V` コマンドを使用してMicrosoft® Hyper-Vをインストールします。
3. コマンド プロンプトで、次のコマンドを実行します。

注 : 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに17個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Virtualization" /v  
BiosLockString /t REG_SZ /d "Hewlett-Packard"
```

4. 作成した仮想マシンに、HPブランドのWindows Server® 2008 R2オペレーティング システム メディアをマッピングし、オペレーティング システムのインストールを開始します。

HPブランド以外のWindows Server® 2008 R2メディアDVDの場合

HPブランドのメディアを使用して、ゲスト オペレーティング システムをMicrosoft® Hyper-Vにフルインストールモードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホスト サーバーにWindows Server® 2008 R2をフルインストール モードでインストールします。
2. コマンド プロンプトで、次のコマンドを実行します。

注 : 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに17個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Virtualization" /v  
BiosLockString /t REG_SZ /d "Hewlett-Packard"
```

3. サービス マネージャーを使用してHyper-Vサーバーの役割を有効にします。
4. 作成した仮想マシンに、HPブランドのWindows Server® 2008 R2オペレーティング システム メディアをマッピングし、オペレーティング システムのインストールを開始します。

HPブランドのメディアを使用して、ゲスト オペレーティング システムをMicrosoft® Hyper-VにServer Coreモードでインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ホスト サーバーにWindows Server® 2008 R2をSever Coreモードでインストールします。
2. start /w ocsetup Microsoft-Hyper-Vコマンドを使用してMicrosoft® Hyper-Vをインストールします。
3. コマンド プロンプトで、次のコマンドを実行します。

注： 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに17個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Virtualization" /v  
BiosLockString /t REG_SZ /d "Hewlett-Packard"
```

4. 作成した仮想マシンに、HPブランドのWindows Server® 2008オペレーティング システム メディアをマッピングし、オペレーティング システムのインストールを開始します。

SmartStart自動インストールの場合（HPブランドまたはHPブランド以外のWindows Server® 2008メディアDVDを使用）

1. オペレーティング システムのインストールが完了したら、コマンド プロンプトで次のコマンドを実行します。

注： 次のコマンド行では、「Hewlett-Packard」という語の後ろに17個のスペースと二重引用符があります。これらのスペースやマークはコマンドの一部として入力する必要があります。

```
Reg Add "HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Virtualization" /v  
BiosLockString /t REG_SZ /d "Hewlett-Packard"
```

2. サービス マネージャーを使用してHyper-Vサーバーの役割を有効にします。
3. 作成した仮想マシンに、HPブランドのWindows Server® 2008 R2オペレーティング システム メディアをマッピングし、オペレーティング システムのインストールを開始します。

VMware仮想マシンでのインストール

1. Windows® 2008でのVMwareのインストールおよび設定について、VMwareのマニュアル（HPのWebサイト <http://www.hp.com/go/vmware>（英語））を参照します。
2. 仮想マシンを作成したら、作成したパスに移動し、<VM guest name>.vmxファイルをメモ帳で開いて次の行を追加します。

```
smbios.ReflectHost = "TRUE"
```
3. ファイルを保存して終了します。
4. HPブランドのWindows® OSメディアを作成した仮想マシンにマッピングし、OSのインストールを開始します。

インストール後の作業（HP ProLiant 300シリーズサーバーのみ）

Webベース マネジメント ユーティリティ

Webベース マネジメント ユーティリティにログインするには、ローカル管理者アカウントおよびパスワードを使用してください。アカウントのログイン名は、次のフォーマットで入力する必要があります。

domain name¥login name

マネジメント ページを適切に表示させるため、より高い表示解像度に変更しなければならない場合があります。

HPマネジメント エージェントのインストール



重要：セキュリティ上の理由により、パスワードを設定するには、64ビットの暗号化されたパスワード証明書を最初に取得してください。パスワード証明書は、HP Systems Insight Managerの証明書サーバーから取得できます。証明書を設定して取得する方法については詳しくは、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp/manual>にある『HP Insightマネジメント エージェント ユーザー ガイド』を参照してください。

1. **[スタート]**メニューから、**[プログラム]**、**[プリインストール]**、**[HPSUM]**の順に選択します。
2. **[localhost]**オプションを選択してから**[次へ]**をクリックします。
3. HPマネジメント エージェントにリモート アクセスする必要がある場合は、以下の手順に従って、パスワードを設定し、信頼モードを決定します。
 - a. **[マネジメント エージェント for Windows]**を右クリックします。
 - b. ドロップダウン リストから**[Configure]**を選択します。
 - c. **[管理者パスワード]**セクションまでスクロールして、パスワードを入力し、再度入力します。
 - d. **[信頼関係]**画面で、適切な信頼モードを選択します。信頼モードには、**[すべてを信頼する]**、**[名前で信頼する]**、および**[証明書で信頼する]**があります。この手順によって、HP Systems Insight Managerサーバーとの信頼関係が築かれます。
 - e. 選択したモードに応じて、信頼されたサーバーの名前、またはbase64で符号化した信頼証明書からなる情報を入力します。
 - f. **[保存]**をクリックします。
4. HPマネジメント エージェントだけをインストールする場合は、対応するチェックボックスの選択を解除して他のコンポーネントの選択を取り消します。この時点でHPマネジメント エージェント以外のHPマネジメント ツールをインストールする場合は、インストールするコンポーネントを選択するとインストールできます。
5. **[インストール]**をクリックして、現在選択されているコンポーネントをインストールします。HPマネジメント エージェントは、設定したパスワードを使用してインストールされます。

HPマネジメント エージェントについて詳しくは、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp/manual>にある『HP Insightマネジメント エージェント ユーザー ガイド』を参照してください。

ネットワーク チーミングおよび設定ユーティリティのインストール

ネットワーク コンフィギュレーション ユーティリティを使用すると、複数の同一のNICをチーム化することができます。ネットワーク コンフィギュレーション ユーティリティをインストールするには、HP Software Update Managerを実行する必要があります。

ネットワーク コンフィギュレーション ユーティリティ ソフトウェアのインストール プロセス中に、the CPQTEAM.DLL file is needed.というメッセージが表示される場合があります。デフォルトのパスがメッセージ ボックスに表示されます。**[OK]**をクリックしてパスを受け入れ、インストールを続行します。

HP Software Update Manager (HPSUM) の使用

オペレーティング システム用のHPSUMは、サーバー ソフトウェアがインストールされるときに自動的にインストールされます。このソフトウェアには、ProLiantサーバー製品の特定の機能を活用するデバイス ドライバーとユーティリティが含まれています。これらのドライバーは、ProLiantハードウェアでのみ使用できます。詳しくは、ディスク ドライブのC:\hpsumディレクトリにある、オペレーティング システム用のPSPのヘルプを参照してください。

HPSUMを起動するには、以下の手順に従ってください。

1. **[スタート]**メニューから、**[プログラム]**、**[プリインストール]**、**[HPSUM]**の順に選択します。
2. セットアップ プログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。

手動で起動する場合は、以下の手順に従ってください。

1. **[スタート]**メニューから**[ファイル名を指定して実行]**を選択します。
2. テキストボックスに次のパスを入力します。
C:\HPSUM\SETUPEX.EXE
3. **[OK]**をクリックします。
4. セットアップ プログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。

アレイ コントローラーの設定

サーバーと一緒にアレイ コントローラーを購入した場合は、オンラインACUを実行して、残りの物理ドライブを使用できるようにセットアップしてください。



重要： ACUを実行するには、Microsoft® Internet Explorerが必要です。Internet Explorerは、アレイ コントローラーとのインターフェイスとして使用されます。ページを適切に表示するには、サーバーのIPアドレスを信頼済みサイトの一覧に含める必要があります。設定を有効にするには、IPアドレスを信頼済みサイトの一覧に追加した後に、Internet Explorerを再起動する必要があります。

1. **[スタート]**メニューから**[プログラム]**、**[HPシステム ツール]**、**[HPアレイ コンフィギュレーション ユーティリティ]**の順に選択します。
2. メッセージが表示されたら、リモート管理を有効にするかどうかを選択します。
3. **[OK]**をクリックします。
4. Webベース マネジメントのパスワードの入力を求められたら、次のフォーマットで、ローカル管理者アカウントまたはローカル ユーザー アカウントのいずれかのログイン名とパスワードを入力します。

domain name\login name

5. 残りの物理ドライブを論理ドライブに設定します。ディスク アドミニストレーターを実行して、追加のドライブ スペースのパーティション作成とフォーマットを行います。

ACUの使い方について詳しくは、HPオンライン ヘルプhttp://h50146.www5.hp.com/products/servers/proliant/storage/acu_ov.htmlを参照してください。

マネジメント エージェントの使用

マネジメント エージェントforサーバーは、セットアップ処理中にインストールされます。マネジメント エージェントについて詳しくは、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/manual>にある『HP Insightマネジメント エージェント ユーザー ガイド』を参照してください。

トラブルシューティング

オペレーティング システムの再インストール

サーバーのオペレーティング システムが壊れた場合は、SmartStart CD、HP Management CD、およびHPブランドバージョンのMicrosoft® Windows®オペレーティング システムCDを使用して再インストールしてください。

オペレーティング システムを再インストールするには、SmartStart CDを使用してサーバーを起動し、画面に表示されるインストールの指示に従ってください。



注意： SmartStart CDから起動すると、ディスク ドライブの現在のディスク パーティションとデータが永久に失われます。

SmartStartによるインストールについては、サーバーに付属のProLiant Essentials Foundation Packを参照してください。

また、HPブランドバージョンのMicrosoft® Windows®オペレーティング システムCDからサーバーを起動することで、オペレーティング システムを再インストールできます。インストール プロセス中に、該当するストレージ ドライバーを入手するために、**F6**キーを押すように求めるメッセージが表示される場合があります。その場合、ストレージ ドライバーはSmartStart CDまたはHPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/support>から入手できます。

頭字語と略語

ACU

Array Configuration Utility。アレイ コンフィギュレーション ユーティリティ

CAL

client access license。クライアント アクセス ライセンス

CMS

central management server。中央管理サーバー

COA

Certificate of Authenticity。出所に関する証明書

CPQTEAM

Network Teaming and Configuration。ネットワーク チーミングおよび設定

EULA

end user license agreement。エンド ユーザー使用許諾契約書

iLO

Integrated Lights-Out

IP

Internet Protocol。インターネット プロトコル

NIC

network interface controller。ネットワーク インターフェイス コントローラー

NTFS

NT File System

PCI

peripheral component interface。周辺装置接続インターフェイス

PSP

ProLiant Support Pack

RAS

remote access service。リモート アクセス サービス

SNMP

Simple Network Management Protocol。簡易ネットワーク管理プロトコル

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol